

Estuary 068



エスチュアリ

★エスチュアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

いしかり砂丘の風資料館だより



写真 炭焼きで使用された窓鋸

■きこりののこぎり

「鋸（のこぎり）」は木材等を切断する道具で、現在よく見る両刃ののこぎりが広く普及するようになったのは明治時代以降とされます。それまでは時代や地域、用途ごとに様々な形状・大きさののこぎりが使われていました。

写真は林業用ののこぎりで「窓鋸（まどのこ）」などと呼ばれるものです。刃渡り約60cmの片刃で、持ち手まで含めると約90cmに達します。細かいぎざぎざの歯の間に等間隔でくぼみ（窓）がついています。一般的なのこぎりとの大きな違いはこの窓の存在で、伐採時に発生する木くずがこの窓があることで詰まりにくくなるのです。

この窓鋸は2023（令和5）年に資料館に寄贈されたもので、昭和前期から中期にかけて、炭焼きの仕事で使われていました。炭焼きとは伐採した木材を炭化させて炭を作成する仕事や従事する人のことで、昭和30年頃まで主燃料の一つとなっていた炭の供給を担っていました。DIYなども流行する現在、家庭でも電動のこぎりなどの電動工具が普及する中で、「ちょっと昔の道具」に込められた工夫も大変興味深いものですね。

（学芸員 坂本 恵衣）

※テーマ展「資料館のお宝2024」では、令和5年度にご寄贈いただきました資料の一部を紹介しております。写真に掲載している窓鋸も本展にてご覧いただけます。

いしかり砂丘の風資料館テーマ展 資料館のお宝2024



◆開催期間

2024年1月10日（水）

～3月31日（日）※火曜休館

◆会場

いしかり砂丘の風資料館

※入館料が必要です（中学生以下無料）

